

なかぐしくうどうん
中城御殿跡地整備検討委員会

第2回

第2回委員会：12月24日（金）10：00～

【資料5】外構計画（案）について

1. 動線計画（案）
 - ①避難動線の考え方（案）
 - ②バリアフリー（車イス）動線の考え方（案）
 - ③利用者・管理者動線の考え方（案）
2. 上之御殿エリアの遺構検出状況とエリア計画への反映（案）
3. 遺構保護の考え方（案）

1. 動線計画（案）

①避難動線の考え方

外構における動線計画を、「避難」の視点を加えて再検討した。

- 建物の基本の出入り口および上之御殿エリアから、敷地外への避難動線を確保する。

【検討内容】

- ・建物出入り口から敷地外への避難動線を検討した。
- ・検討の結果、敷地外への出入り口を新たに2箇所（北側境界、上之御殿エリア）設定した。

【要検討事項】

- ・瓦石垣の門の有効幅員について（法令で要求された幅員 ※下枠内との兼ね合い）
- ・瓦石垣そのものの形、または整備の必要性について（再現性と動線の確保のバランス）

敷地内通路の幅員について

建築基準法施行令（2020年4月1日改訂）

第五章 避難施設等

第六節 敷地内の避難上及び消火上必要な通路等

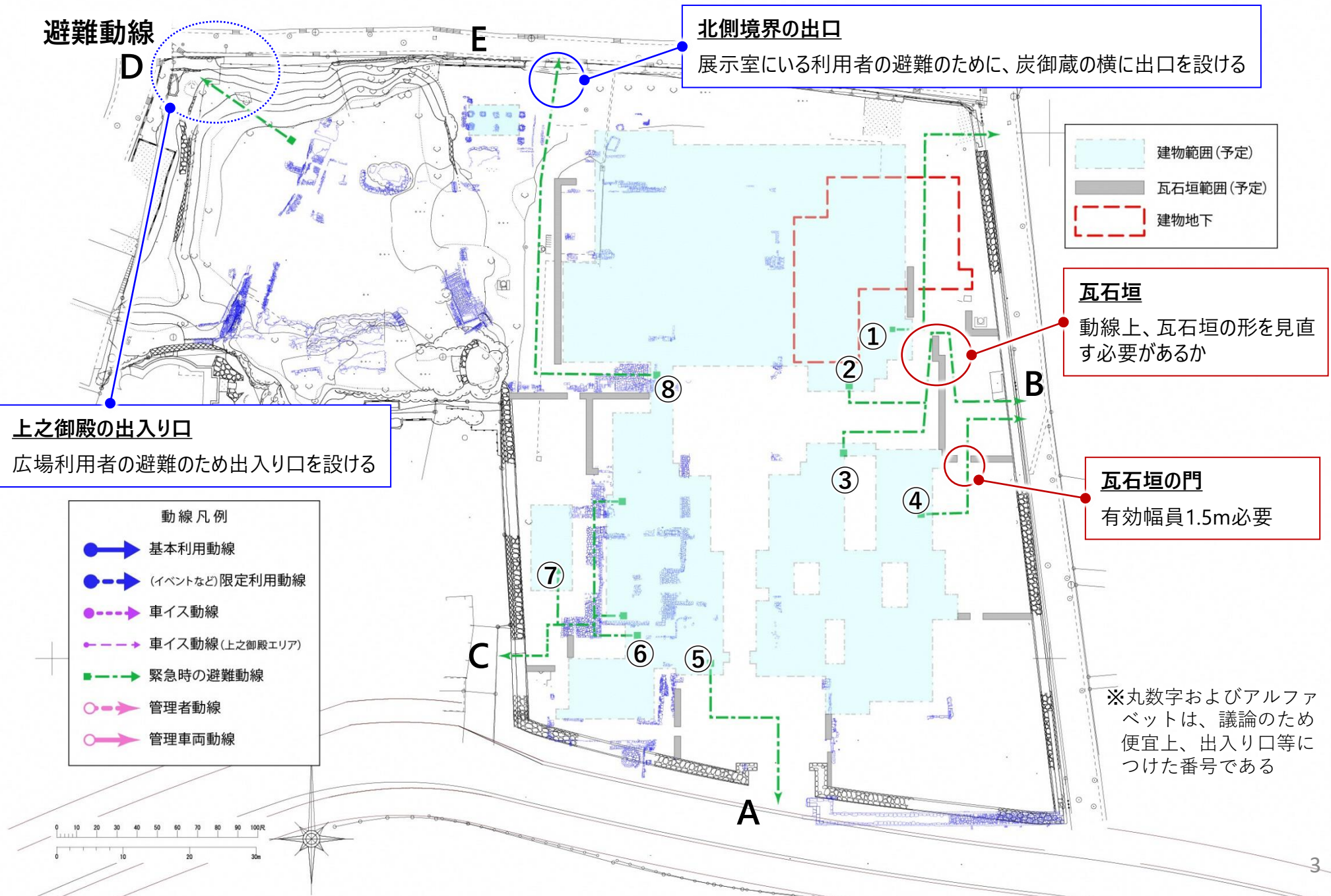
（適用の範囲）

第127条 この節の規定は、法第35条に掲げる建築物に適用する。

（敷地内の通路）

第128条 敷地内には、第123条第2項の屋外に設ける避難階段及び第125条第一項の出口から道又は公園、広場その他の空地に通ずる幅員が1.5m（階数が3以下で延べ面積が200㎡未満の建築物の敷地内にあつては、90cm）以上の通路を設けなければならない。

1. 動線計画 (案)



1. 動線計画（案）

②バリアフリー（車イス動線）の考え方

外構における動線計画を、「バリアフリー」の視点を加えて再検討した。

- 中城御殿は、首里城公園の施設のひとつであり、登録博物館としての基本的な機能を有する施設として整備する。また、首里杜地区の周遊の拠点となることも想定される。
- したがって、情報発信機能であるウェルカムホールや展示室、木造復元部分へのアクセスを確保する。

【検討内容】

- ・展示室および木造復元部分への車イスでのアクセス動線を設定した。

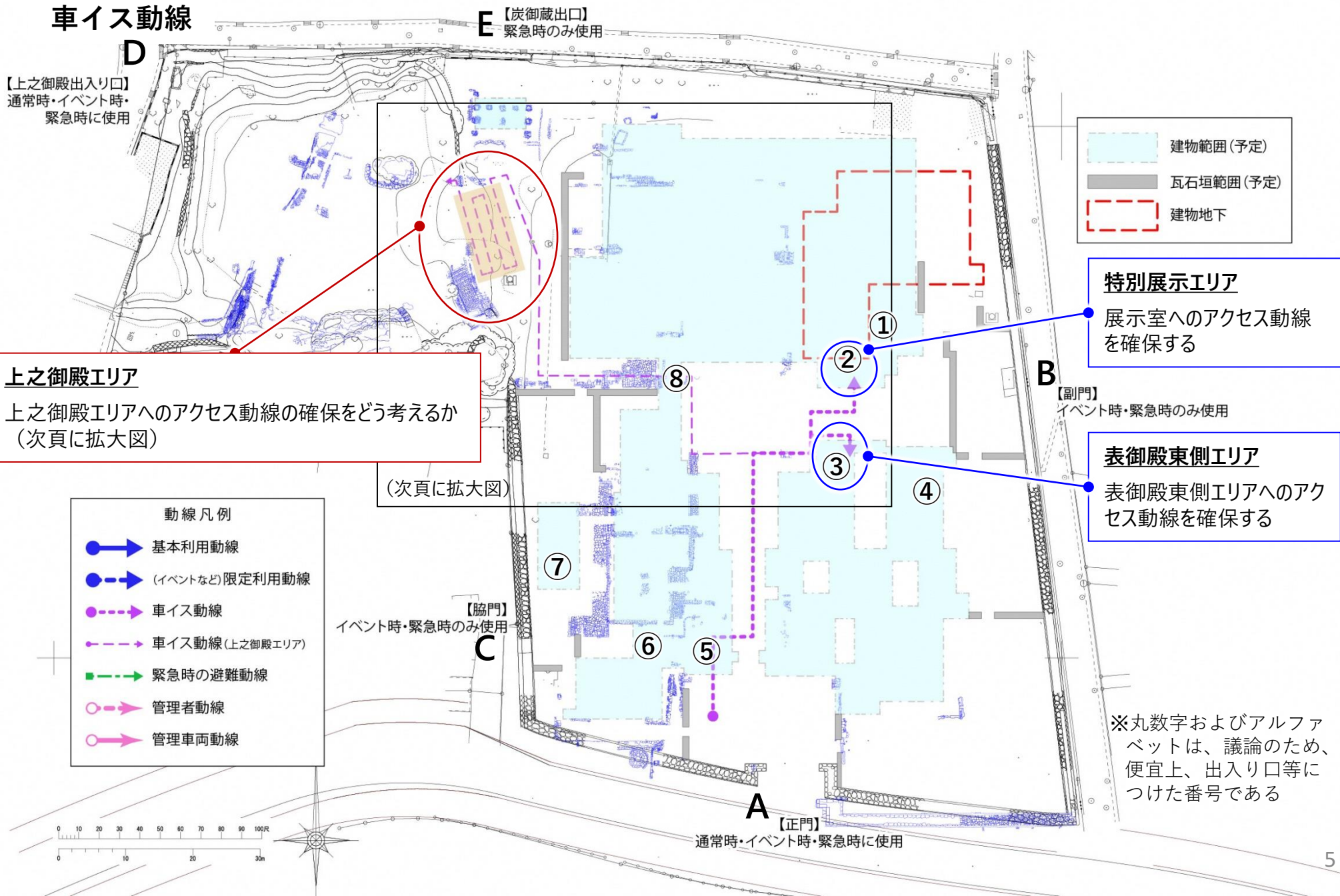
【要検討事項】

- ・上之御殿エリアへの車イスでのアクセス確保は難しい。
 - スロープを設置した場合の影響について、どこまでが許容範囲か（遺構の保護・再現と、車イスによるアクセスの確保のバランス）
- スロープを整備したとき想定される影響
 - ・現存石垣や階段遺構などの遺構を破壊するおそれ
 - ・復元予定の井戸と車イスによる動線が重なるおそれ
 - ・消火設備等の設置スペースとの兼ね合い



1. 動線計画 (案)

車イス動線



1. 動線計画 (案)

車イス動線 (上之御殿エリア)

上之御殿エリアへのアクセスを確保するためには

上之御殿エリアへのスロープを設ける場合、45mのスロープが想定される。

3回折り返すかたちでスロープを設けた場合、どの範囲に影響が出るかを大まかに作図した。

遺構への影響

石垣や石階段など遺構を破壊するおそれ

石垣で区切られた上之御殿の特別性を損なうおそれ



井戸への影響

復元予定の井戸に干渉するおそれ

中御庭への影響

車イス動線とするためには、中御庭（珊瑚砂利）の一部の対応舗装が必要

※丸数字は、議論のため、便宜上、出入口等につけた番号である

1. 動線計画（案）

③利用者・管理者動線の考え方

外構における動線計画のうち、利用者および管理者の動線を整理した。



【検討内容】

・利用者（基本利用動線／限定利用動線）および管理者の動線を設定した。

【要検討事項】

・表御殿東側エリアへの動線は、施設計画参照。

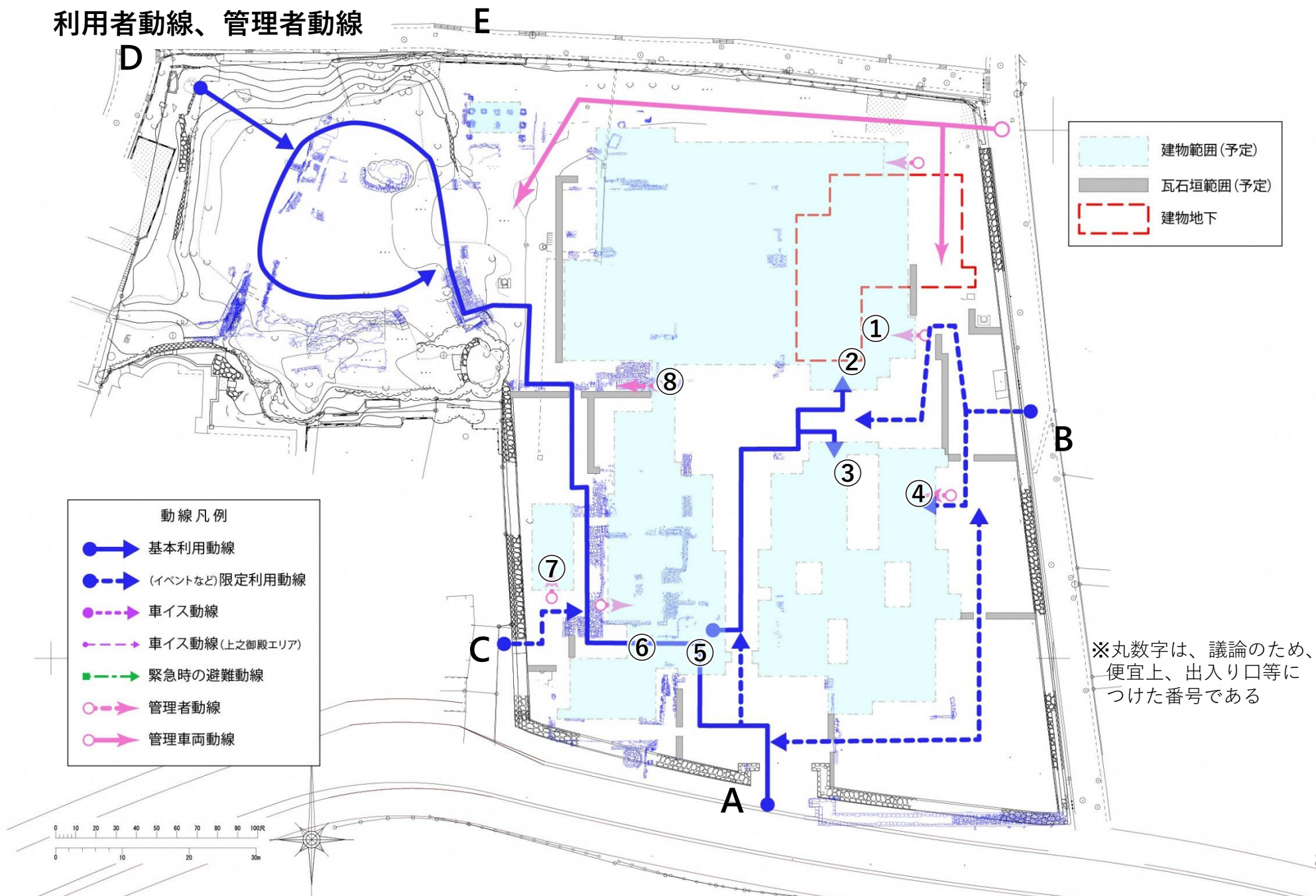
・各出入り口の扱いについて（開放・閉鎖の考え方について）※下表のとおり設定した。

出入り口の開放・閉鎖について

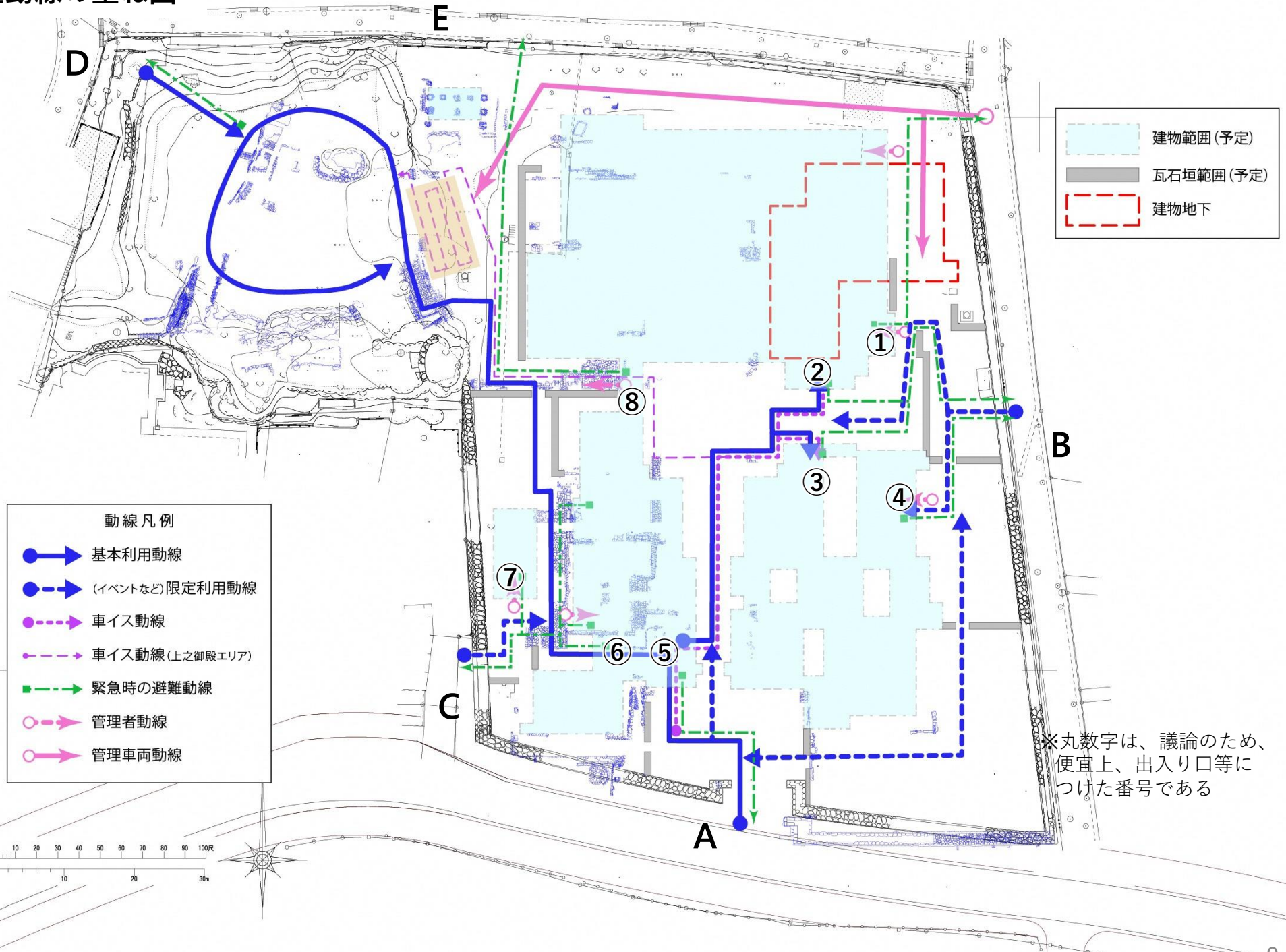
| | 通常時 | イベント時 | 緊急時 |
|------------|--|-----------------|-----------|
| A 正門 | ● 日中は開放、夜間は閉鎖 | ● イベント計画に基づいて開放 | ● 緊急時には開放 |
| B 副門 | ● 日中は開放、夜間は閉鎖 ● ただし日中はロープ等により人の出入りを制限 | ● イベント計画に基づいて開放 | ● 緊急時には開放 |
| C 脇門 | ● 日中は開放、夜間は閉鎖 ● ただし日中はロープ等により人の出入りを制限 | ● イベント計画に基づいて開放 | ● 緊急時には開放 |
| D 上之御殿出入り口 | ● 日中は開放、夜間は閉鎖 | ● イベント計画に基づいて開放 | ● 緊急時には開放 |
| E 炭御蔵出口 | ● 日中、夜間とも閉鎖 | ● 閉鎖 | ● 緊急時には開放 |

1. 動線計画 (案)

利用者動線、管理者動線



全動線の重ね図



2. 上之御殿エリアの遺構検出状況とエリア計画への反映（案）

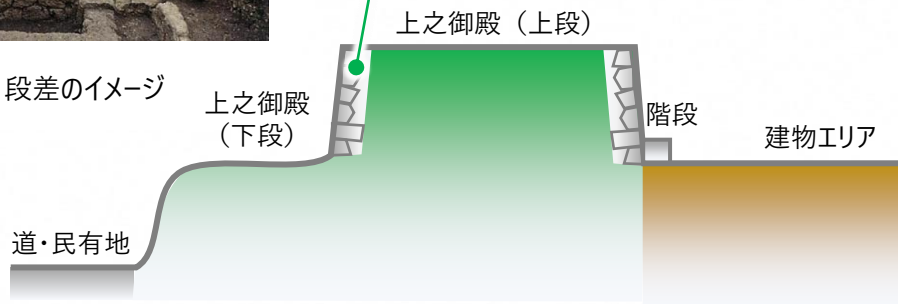
発掘調査成果の反映について

ア.上之御殿広場の石牆

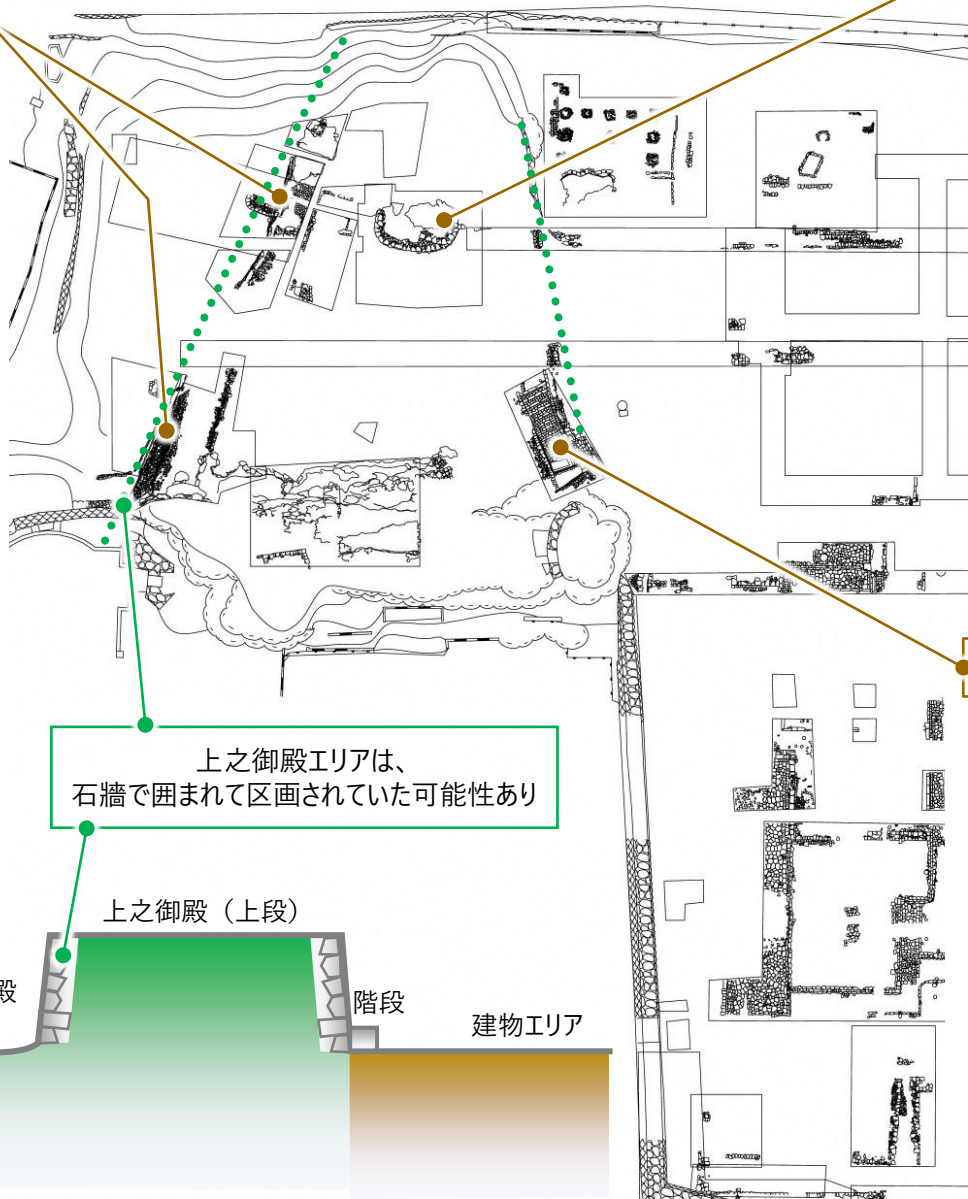
- 石牆の遺構が検出され、広場に段差があったことが判明した。また、階段と思われる遺構も検出されている。
- 段差があったことを踏まえて、広場計画をどう修正するかが課題。



段差のイメージ



上之御殿エリアは、
石牆で囲まれて区画されていた可能性あり



イ.立岩・上之御殿庭園

- 立岩の発掘調査では立岩を覆う石積みの基礎が検出された。この外側に石階段があったと想定される。
- 庭園遺構もよく残っている。
- 立岩や上之御殿庭園は、遺構を活用して復元整備する。



ウ.石階段など

- 石段は遺構がよく残り、これを活用し、保全・展示する。



3. 遺構保護の考え方 (案)

